

HIRAO NEWS

'20.11月号 -Vol.15-

熊川消波その2 完成しました！



着工前



完成

工事名 > 公共災害復旧（再復）工事（海岸）

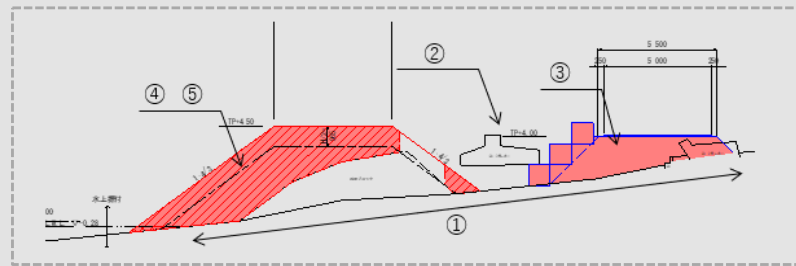
工期 > 令和 1年10月24日 ~ 令和 2年10月30日

工事概要 > 東日本大震災で被害を受けた消波堤の復旧を目的とした、消波ブロック製作据付を行う工事です。



— 作業工程について —

作業開始前に遺留品の調査をしました。飛散された既設堤防の撤去については、その下にも遺留品がある可能性があったため、丁寧な作業で慎重に撤去し、調査をしました。その後、工事用道路を施工し、作業路を確保しました。最後に消波ブロックの製作・据付けを行い完了です。



① 工事着手前（重機搬入前）に遺留品の調査を行います。



② 飛散された既設構造物取壊し作業では、遺族の想いを尊重し、丁寧な作業を行います。

1. 削孔作業

2. 既設構造物の分割

3. 吊り上げ撤去

4. 取壊し作業



本工事は帰還困難区域内での作業であったため、工事着手前（重機搬入前）に人力による草刈り後、遺族関係者の思い出の品の有無を調査し、工事に着手しました。



従来通りの重機ブレイカー作業ではなく、人力による丁寧な取壊し作業を行いました。

既設構造物は大きく吊り上げが困難だったため、静的破砕機（油圧）により分割しました。

分割した既設構造物を無振動でクレーンにより吊り上げ、その下に遺留品、遺骨等の有無を確認しました。

集積後、通常取壊し作業を行います。

NEXT PAGE

羽黒山橋の開通式が行われました！

工事名 > 平成26年度 道路改築事業（防災安全）

主要地方道鶴岡羽黒線羽黒山橋（仮称）橋梁下部工事

工期 > 平成26年 7月17日 ~ 平成28年 1月29日



③

消波ブロックの運搬据付用の工事道路を施工します。



④

消波ブロックの製作をします。



⑤

消波ブロックの据付をします。



遺族の方の想いを大切にし、重機ブレーカーを使用せずに人力で慎重に工事を進めたのですね。

丁寧な作業は失敗や思わぬ事故を防ぐことができるので、普段から心がけておきたいですね。



現場担当者にインタビューしました！



—どの作業工程が一番大変でしたか？



飛散された旧既設堤防の下に遺留品がある可能性があったため、撤去作業では通常作業の倍以上の時間を費やし、丁寧な作業を心掛けて工事に取り組んだ点が大変でした。



—現場で工夫した点はなんですか？



消波ブロック据え付け後の沈下が予想されたため、旧消波ブロックを早い段階で水中部に据付しました。沈下量を計測し、より正確な製作数量を確定させました。

台風等での被害も十分に考えられたため、一部完成の時期についても計画し、手直しすることなく工事を完成することが出来ました。



▲ 令和2年11月8日 山形新聞

鶴岡市羽黒町手向の主要地方道鶴岡羽黒線「羽黒山バイパス」（延長3.2キロ）が11月8日に全線開通し、開通式が行われました。

長さ272メートルの羽黒山神路大橋を含む約1.5キロ区間が供用を開始し、羽黒山や月山へのアクセスが向上しました。

旧道に比べ、6メートルだった車道幅が9.5メートル（2車線）になり、片側に幅2.5メートルの歩道を整備しました。

羽黒山バイパスが開通したことで、利便性向上に繋がり、多くの方が利用することでしょう。

～現場担当者より一言～

私が施工してきた橋梁下部工の中でも最大の構造物でした。雪が3mも積もる地域だったので、降雪前に何とか完成させた苦労した現場でした。



編集後記

12/1 祈願祭

12/3 安全衛生委員会

12/29～1/5

年末年始休業

来月の行事日程

今年も残り1ヶ月程となりました。

これから雪が降り始めるので、現場での作業や運転により一層気を付けましょう。また、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザも流行ってきますので、引き続き手洗いとうがいとマスクの着用を心がけていきましょう。